

光度センサ (TTL 信号出力装置)

Model:MaP1180PS1(1ch) / MaP1180PS2(2ch)



視覚刺激呈示のタイミングを取得！

特徴

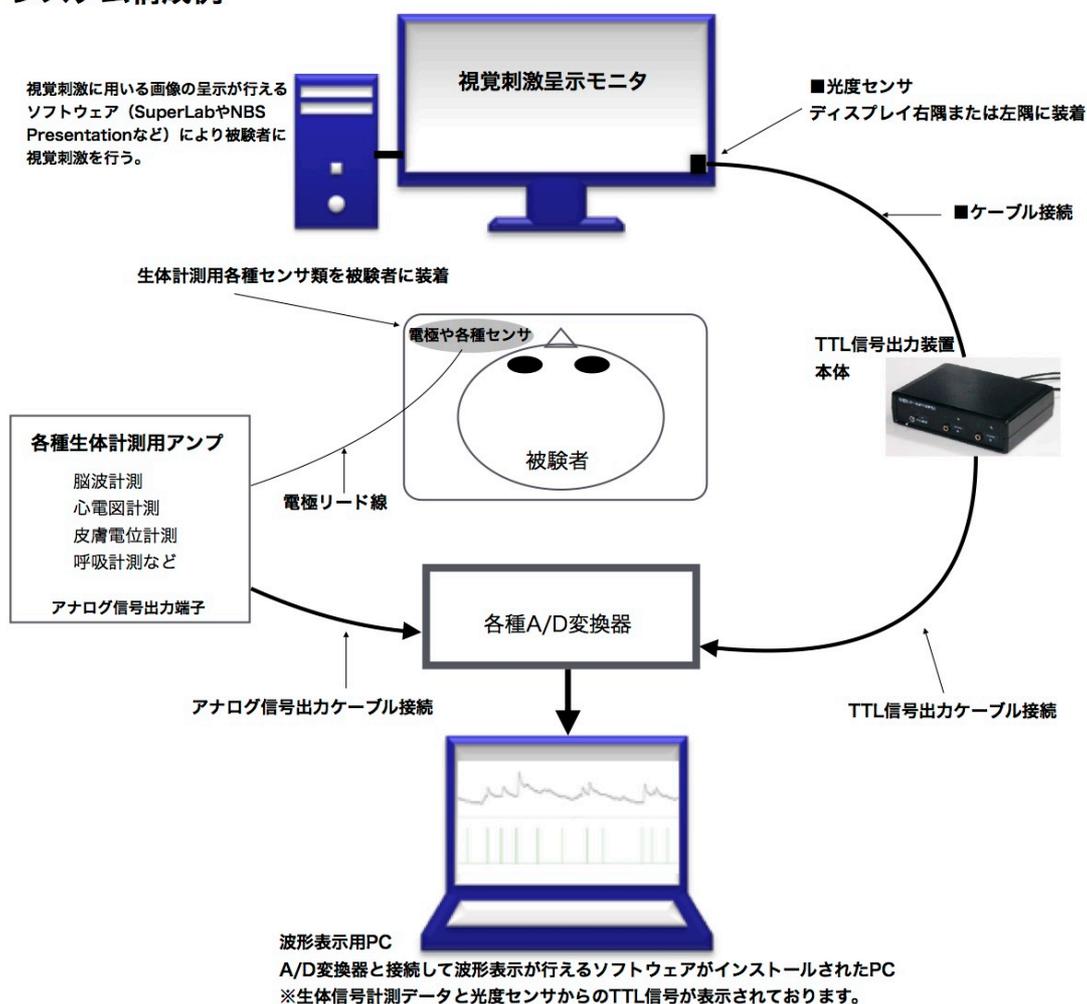
心理実験などで被験者に視覚刺激呈示を行う場合に、刺激呈示用のディスプレイに光度センサを装着しておくことで、刺激呈示されたタイミングを感知し、装置本体より TTL 信号を出力します。生体信号を測定されている場合、刺激呈示のタイミングを取得しておくことで、どのような刺激に対する生体信号の反応なのかが判断できるため大変便利です。

光度センサ（TTL 信号出力装置） 製品仕様

「基本仕様」

■型式	MaP1180PS1-BF	MaP1180PS2-BF
■チャンネル数	1チャンネル	2チャンネル
■光センサ	フォトトランジスタ	
■スイッチング時間	10 μ sec	
■トリガー出力	TTL（出力端子 BNC）	
■感知レベル	半固定抵抗でレベル調整可能（出荷時 60%に設定）	
■電源	USB ケーブルにより 5V 供給（ドライバソフト不要）	

システム構成例



■このカタログは 2015 年 2 月 1 日現在のものです。
■製品の仕様および外観は予告なく変更される場合があります。



バイオフィールド株式会社

〒564-0051

大阪府吹田市豊津町 1-18 エクラート江坂ビル 3F

TEL: 06-7878-6569 FAX: 06-7878-6530

E-Mail: info@biofield.co.jp

